

再生・活性化を果たした商店街事例 №25

粉浜商店街振興組合(大阪府大阪市)

【取組の方向】 店舗を借りやすい仕組みの構築

食料品店舗が4割弱を占める、歴史ある地域型商店街。店舗数123。

○商店街の置かれた状況
近隣にスーパーマーケットの出店が相次ぎ、来街者が減少。空き店舗がうまるまでの期間が長期化する兆しが見られた。

○対応策
行政の補助制度を活用し、空き店舗を借り上げ、サブリースで1週間単位のレンタルショップとして貸し出した。

○状況変化
目新しい商品があることで、お客様に好評。既存店とのバッティングの心配もさほどなく、好調な売上を上げる。

○具体的取組
補助制度が終わった後は、出店者管理を外部委託し、サブリースをやめて出店者と家主との直接契約に。商店街事業としては情報発信に専念する。

○具体的成果
商店街に変化が生まれ、注目度が高まる。出店希望者が増加。

【地方自治体の取組】
自治体の補助制度をきっかけに事業がはじまった。制度が終わってからもPRなどを助力。